

中学校技術・家庭科

第21回千葉県中学生創造ものづくり教育フェア

「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール開催要項

1 目的

- 「ものづくり」の発表を通して、知識や技能を習得し、活用することによりものをつくることや活用の喜びを味わう機会とする。(2021年度、アイデアバッグ部門と生徒作品コンクールの両方にエントリーしている作品がありました。多くの生徒に参加していただきたい観点から、どちらかに絞って参加をお願いします。)
- 技術・家庭科で習得した知識や技能を生かした被服作品等の設計、製作を通して、ものをつくる喜びや仲間と競技をする喜びを味わう機会とする。また、発表の場を通して、他校生徒との交流を図り、合わせて知識や技能の向上を図る機会とする。
- 自分や家族の生活をより豊かにするために、個性や工夫を生かした製作の目的を明確にすることにより、製作や活用の喜びを味わう機会とする。
- 製作を通して、ものを大切にする心や成就感、自分や家族の生活を豊かにすることの大切さを実感する機会とする。

2 主催団体等 主催：関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究会

千葉県教育研究会 千葉県教育研究会技術・家庭科教育部会

共催：千葉県教育委員会 千葉市教育委員会 千葉県木材振興協会
千葉県技術・家庭教育振興会

後援：千葉県 千葉県中学校長会 公益財団法人千葉県学校給食会

協賛：双葉電子記念財団 山崎教育システム株式会社 開隆堂出版株式会社
東京書籍株式会社 キッコーマン株式会社 株式会社ジャノメ

藤久(株)クラフトハートトーカイドットコム

3 開催日 令和7年11月8日(土)

レポート審査で選ばれた7名による作品審査及びプレゼンテーション

4 会場 千葉県総合教育センター 千葉県千葉市美浜区若葉2丁目

5 参加費 無料

大会ルール(書式)については
全国大会要項に準じる

6 競技の課題および課題製作上の注意

(1) 競技の課題について

『バッグ(ショルダーバッグ, トートバッグ, リュックサックなど)』とする。

(2) 使用する布について

・バッグ本体の全部または、一部に、家庭にある自分または、家族の衣服を用いる。

その他、衣服以外の布などを加えてもよい。

(3) デザイン及び機能について

・衣服の一部をそのままの形で1つ以上活用する。

(例：ポケットの形状やボタンをそのまま利用する など)

・『バッグ』の口を閉じられるようにして、中身が出ない工夫をする。

(4) 縫製について

・入れるものに必要な強度が保たれるように、布目の方向や縫い目の大きさ及び縫い代の始末の仕方などを工夫する。

・バッグのいずれかの部分にまつり縫いを取り入れる。

・スナップは、必ず1つ以上付ける。

(5) レポートについて

・レポートには、「テーマ」、「構想」、「自分や家族の生活を豊かにする視点」、「私にとってのものづくりの視点」と「衣服の再利用の工夫（どの部分をどのように活用するか）」その理由を明記すること。また、まつり縫い・スナップを取り入れた部分を明記すること（朱書きする）。

・解体前の全体像を、写真またはイラストで表す。

(6) プレゼンテーションについて

・当日はオンラインにて「製作した『バッグ』について、3分以内の発表を行う。その際、利用方法、「自分や家族の生活を豊かにする視点」「私にとってのものづくりの視点」、「衣服の再利用の工夫の視点」から発表をする。そのあと審査員から作品や製作について2分程度質疑応答を行う。

・プレゼンテーションは「zoom」でできること全てを認める。

(7) 作成全般について

・生成AIによる生成物を自己の成果物として応募・提出しないこと。

文部科学省「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン（令和5年7月18日）」に基づいて『全国中学生創造ものづくり教育フェア』を行います。ご指導される先生方や参加される生徒の皆さんは、参加や作品の応募・提出前に必ずご確認ください。全文をお読みいただいた上で、特に、5ページの【(2)生成AI活用の適否に関する暫定的な考え方】や、6ページの【長期休業中の課題等について（文章作成にかかわるもの）】をよくお読みください。

7 審査項目

レポート 【45点】	記述内容	「自分や家族における課題」、「解決方法（衣服等の再利用を含む）」、「期待される効果」、「製作工程」、「型紙の配置」、「まつり縫い・スナップを取り入れた部分」を具体的に記述しているか。
縫製 【35点】	縫い代の幅と始末の仕方	・布やバッグの部位に応じて、適切な幅であるか、縫い代を適切に始末しているか。
	ミシン縫い	・バッグの部位に応じて、縫い目の大きさや強度が保たれる工夫をしているか。
	手縫い（まつり縫い、スナップ）	・まつり縫いが適切にできているか。 ・スナップを適切に付けているか。
	出来栄	・作品の出来栄はどうか。
発表 【35点】	発表内容	実際に入れるものを使い、テーマで意図したことを次の3つの視点から具体的に説明しているか。 ・「自分や家族における課題」 ・「解決方法（衣服等の再利用を含む）」 ・「期待される効果」 3分以内の発表と2分程度の質疑応答を行う。
衣服の再利用 【30点】	デザイン及び機能性	・衣服の一部の利用は、テーマに応じたデザインになっているか。 ・衣服の一部の利用は、テーマに応じた機能を満たしているか。 ・使う人の立場に立った工夫がされているか。

8 表彰

県知事賞（1位），県会長賞（2位），県会長賞（3位）

上位入賞者3名に賞状を授与するとともに、上位3名は関東甲信越地区大会へ出場する。

9 参加申込み

参加費は無料です。

(1) 申込み締切 令和7年9月5日（金）

(2) 申込み方法 ①大会参加申込書を千葉県教育研究会技術・家庭科研究会HPからダウンロードし、必要事項を記入する。

②メールに添付し gikachiba@gmail.com に送る。

※確認メール等の返信あり

(3) 製作レポート提出について

①9月29日（月）必着で「応諾書」と「製作レポート」（カラー5部）を下記担当まで郵送する。（製作レポートは規定の用紙を用い、必ずペン書き（鉛筆不可）（色も付ける）をして、A4版片面印刷で提出する）レポート用紙は全国大会の書式にならない、同じ枚数に合わせる。

②第2次審査へ出場決定の連絡は、10月15日（火）までに各学校担当者に FAX で連絡します。

(4) 作品の提出について

①第2次審査出場者は、11月8日（土）に作品とプレゼンテーション資料等を持参し、大会会場に会場に来場する。（大会会場：千葉県総合教育センター 千葉県千葉市若葉2丁目）

②第2次審査後、作品を返却します。

(5) 参加日程

・令和7年 9月 5日（金）	参加申し込み締め切り（提出先： gikachiba@gmail.com へ）
・令和7年 9月29日（月）	応諾書、製作レポート5部送付期限 （提出先：松戸市立第一中学校 船迫 千春宛）
・令和7年10月10日（金）	第1次審査（レポート審査）第2次審査へ出場する7名を選出する
・令和7年11月 8日（土）	第2次審査（作品審査・プレゼンテーション）、結果発表

10 その他

出場数に制限はないので、千葉県内の中学生であれば参加することができますが、生徒作品コンクールにエントリーしている生徒は参加できません。また、他の部門（ロボコンなど）との同時エントリーもできません。

※本コンクールに関わる諸連絡、質問等の連絡先

千葉県立川戸中学校 校長 豊川 ますみ
〒260-0802 千葉県千葉市中央区川戸町443 TEL 043-264-5110 FAX 043-268-4843

※応諾書、製作レポート5部送付

松戸市立第一中学校 教諭 船迫 千春
〒271-0076 松戸市岩瀬587 TEL 047-363-4171 FAX 047-364-2655